

## <意見交換の内容>

### ① この事例を支援するのに、必要な情報は？

#### <家族の状況>

- ・第1子：年齢、性別、乳幼児健診の情報、受診状況を含めたフォロー状況、入園の有無、赤ちゃん返り等第2子出生後の変化、日中の過ごし方
- ・第2子：出生時の状況、退院時の状況、胎児期の頃の状況、発育と発達、授乳状況、夜間の状況、抱っこしたときの様子、体重増加量
- ・母親：第2子出産前不安に感じたこと  
母子健康手帳発行時の状況
  - ・妊娠の受け止め方
  - ・支援者の有無
  - ・既往歴：EPDS からうつ病既往疑第1子出産時と健診受診時の状況、第1子の育児支援事業参加の状況、第1子への思い、就労状況、実家との関係、年齢、性格、生育歴、食事睡眠、生活状況、育児の考え方、里帰りしなかった理由  
同年代の友人の有無、夫以外の相談者の有無
- ・父親：金銭面の状況(職業、収入、環境)、育児の状況、分娩時の立ち会い有無、性格、年齢、保健師面接後の状況、妻の現状把握の有無、実家との関係、健康状態、既往歴、育児の考え方

#### <その他>

～追加情報を踏まえて～

- ・夫、実母が不仲になった理由
- ・夫の在宅時間
- ・本人と夫の関係
- ・母と祖母の連絡の取り方
- ・産科で母親にどの程度聞き取りが出来たのか。EPDSQ9,Q10 について詳細情報

### ② 母親がつらいと感じていること（想定されることも含む）

- ・実母や夫の協力を得られず、一人で育児や家事を抱え込んでいる
- ・困ったときにSOSを出せないまま
- ・育児や家事をする気力が無い
- ・1人で2人の子どもをみる
- ・母乳育児への強い気持ち
- ・経済的な部分
- ・睡眠が確保出来ない

### ③ どのようなサポートを必要としているか？（時間があれば具体的に考える）

- ・母親のつらさを受け止める（産婦人科受診時や保健師・助産師の訪問）
- ・母親の頑張ってきたこと、できていることを認める（産婦人科受診時や保健師・助産師の訪問）
- ・家庭以外の居場所を作ったり睡眠時間を確保する（産後ケア事業や民間の家事支援、一時預かり保育等利用）
- ・夫からみた母の変化を確認する（母のつらさを伝える）→ 医療機関受診へつなげる
- ・専門医による診察や治療（受診を拒否しているので、カウンセリングから勧めてみる）
- ・夫や実母を含めてのカンファレンス
- ・入院中から保健師と産婦人科との連携を行い、訪問や早めの保育園利用開始に繋げる
- ・交友関係作りのサポート

### ④ その他

- ・入院中から情報をつなぐことが重要である。退院すると訪問を受け入れないケースも出てくる。入院中の一番母親が困っているときに関係者が会えると関係性を持ちやすい。
- ・関係者からの支援を拒否するケースでも、分娩に携わった助産師からの電話連絡を受け入れやすい。